

座右の銘



ジーアンドエス エンジニアリング 社長

児玉 和久

幼少の時期から剣道に没頭してきたことで「武士道」の精神が自然とたたき込まれており、「敵は己にあり」は常に身近な言葉としてあった。剣道は勝ち負けを競うというよりも人間形成に重きを置くものである。

剣道の道場ではかねてから、「日本人としての誇り」や「国士としての精神」などをたたき込まれてきた。

そのおかげで、今でも他人と比較して自分の力量や置かれている環境を計るのではなく、自己と向き合い、自分自身との戦いによってのみ活路を開いていくことを信条としている。

また、自己との戦いには終わりはなく、「継続は力なり」との言葉にも結びつく。